

1 永山駅周辺再構築に向けたまちづくりの視点

まちづくりの視点	①誰もが安心して利用でき、歩いて楽しいまち
	②バスや鉄道、自家用車などが利用しやすいまち
	③様々な暮らしや活動ができる、賑わいあるまち
	④周辺の貴重な緑や眺望を、より活かす
	その他（ ）

2 アイデア

	より良くしたいこと（機能・アクティビティ等）		
商業・賑わい	個性的な飲食店・カフェ - チェーン店ではなく個人店が出店しやすい仕組み 賑わいや景観づくり - 店舗の賑わい、景観の特徴が見えるようなルールづくり		
文化・交流・働く	ビジネスの促進 - コワーキングスペース - 企業による研究開発の拠点 - 個人のものづくりの拠点 子育て・福祉施設の充実 - 老人向けスポーツ施設 - 働く子育てママさん向け施設の充実（一時預かり、子育てカフェ等）		
公共施設	駅前に市役所機能を - 市役所を駅前に 公共空間の新しい使い方 - 専門性のある共用空間 - 図書館 - 本を読む場をエリア分けし、借りなくても済むように		
医療・福祉・子育て	子育て機能の充実 - 子育て施設 - 現在の機能はそのまま、更に保育等の機能向上 医療施設と駅の接続 - 永山病院と駅を直結 - 駅から日本医科大学へ傘なしで行けるように		
多様な住宅	若者向けの住宅 - 学生向けのシェアハウス - 若い人向けの住宅 住み替えの促進 - 住み替えの仕組みづくり		
交通	駅のハード整備による利便性向上 - 屋根の設置 - バスブールの拡充 - スロープ設置などのバリアフリー化 - 明るく楽しめる駅前広場 次世代交通の導入 - セグウェイなどのモバイル交通 - 遊歩道での乗り合い電気自動車		
緑・オープンスペース	カフェなどの柔軟な利用 - カフェなどがある公園 - カフェやイベントのための利用ルールづくり 自然とのふれあい - 並木道、木を管理する仕組み（自分の木をつくるなど） - 散歩やピクニックができる 広場や休憩場所の整備 - さんかく広場に喫煙所の整備 - 駅周辺のベンチ等の休憩場所		
その他	コンパクトで利便性の高い駅前 - 商業・医療・ホールを駅近くに集約 - 用事が無くても訪れたいくなる まちの玄関口としての景観 - 駅が街並みに調和する計画		

5 コンセプト

タイトル	グリーンウェルネス ～健幸の森大作戦～
------	-------------------------------

4 計画のポイント

計画のポイント3つ	① 緑ゆたかなまち（駅を降りたら広がる森）
	② 東西をつなぐターミナル
	③ 北の健康、南の交流、駅前の商業

3 将来マップ



■ワークショップ案

